



2026 年 6 月 11 日

各 位

会社名 山九株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 中村 公大
(コード：9065 東証プライム・福証)
問合せ先 総務部長 宮本 昌典
(TEL. 03-3536-3939)

ISS 社の議決権行使助言に関する当社の見解について

山九株式会社（以下「当社」）は、2026 年 6 月 25 日開催予定の第 117 回定時株主総会に付議する「第 3 号議案 監査役 2 名選任の件」に関し、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc.（以下「ISS 社」）が、監査役候補者である重田和宏氏の選任に対して反対推奨するレポートを発行したことを確認いたしました。

本議案に関する候補者の選任理由等は招集ご通知に記載のとおりですが、ISS 社の反対推奨を踏まえ、当社としての見解を下記のとおりご説明いたします。

記

1. ISS 社の反対推奨内容

ISS 社は、重田和宏氏の丸紅株式会社との関係性（Affiliated Outsider）に起因する独立性の懸念を理由に、反対を推奨しています。

2. 当社の見解

（1）重田和宏氏の独立性について

重田和宏氏は、2026 年 3 月 31 日をもって丸紅フォレストリンクス株式会社の取締役を退任しており、丸紅グループの経営に直接関与する立場にはありません。また、当社における丸紅株式会社および丸紅フォレストリンクス株式会社の取引高は、いずれも当社の直近年度の売上高の 0.01%以下であり、当社の経営判断に影響を及ぼすような重要な取引関係にはございません。同氏の経歴に鑑みても、当社グループの経営から独立した立場で、客観的かつ中立的な監督、監査を遂行できるものと判断しております。

（2）保有株式について

当社が保有する丸紅株式会社の株式につきましては、中長期的な企業価値向上への寄与を総合的に勘案し、保有してまいりました。なお、当社はコーポレートガバナンス・コ

ードの趣旨に則り、これまでも政策保有株式の縮減に継続的に取り組んでおり、当該銘柄についても縮減実績を積み重ねております。今後も保有の合理性を定期的に精査し、適宜、見直しを進めていく方針です。

(3) 監査役としての役割と期待について

当社グループでは、海外拠点におけるガバナンス体制の強化を重要な経営課題と位置付けております。重田和宏氏は、長年にわたる豊富な海外経験を有しており、グローバルな視点から当社の海外拠点におけるリスク管理や内部統制のあり方について、的確な助言と厳格な監督を行うことができる適任者です。当社は、同氏が有する高い専門性と豊富な海外経験を活かし、当社のガバナンス体制の強化および企業価値の向上に大きく貢献いただけるものと確信しております。

3. 株主の皆様へのお願い

本議案につきましては、候補者の経歴、専門性、および当社グループの経営課題に対する適合性を総合的に勘案し、慎重に検討を重ねた上で提案しております。

株主の皆様におかれましては、当社が招集ご通知にて開示しております選任理由や、当社グループのガバナンスに対する考え方、今後の経営方針を総合的にご勘案いただき、議決権行使に関するご判断を賜りますようお願い申し上げます。

以 上